

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	経絡経穴学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	嶋田 琢磨	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
はり師・きゅう師の資格取得、および鍼灸臨床に必要となる正経十二経脈と督脈、任脈を合わせた十四経脈の流注を理解し、所属する経穴名、取穴するための部位を習得することを目的とする。各経脈の流注を概説できる。各経脈の所属経穴、要穴を列挙できる。経穴の取穴を骨度法と解剖学的指標を使って説明できる。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験80%、確認試験20%(3回実施)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新版 経絡経穴概論第2版 医道の日本社、2009年						
《授業外における学習方法》						
学習には筋骨格系、末梢神経系および、循環器系の解剖学の知識や陰陽・五行論などの東洋医学の知識が必要となる。そのためこれらに関連付けながら学習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書持参を徹底すること。講義には真摯な姿勢で取り組み、その時間内で講義内容を理解することを心がける。覚えることが多いため、復習を徹底すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義展開を理解する。経絡・経穴の基礎を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	学習ガイダンス、経絡・経穴の基礎について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡・経穴の基礎を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	経絡・経穴の基礎について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	任脈の流注と所属経穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	会陰～中脘について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	任脈の流注と所属経穴、要穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	上脘～承漿、所属経穴の要穴について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	督脈の流注と所属経穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。	
		各コマにおける授業予定	長強～大椎について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	督脈の流注と所属経穴、要穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	瘧門～鬲交、所属経穴の要穴について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	手の太陰肺経の流注と所属経穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	中府～少商、所属経穴の要穴について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	手の陽明大腸経の流注と所属経穴について理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	商陽～曲池について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	手の陽明大腸経の流注と所属経穴、要穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	肘髎～迎香、所属経穴の要穴について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の陽明胃経の流注と所属経穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	承泣～欠盆について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の陽明胃経の流注と所属経穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	気戸～気衝について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の陽明胃経の流注と所属経穴、要穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	脾関～厲兌について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の太陰脾経の流注と所属経穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	隠白～衝門について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	足の太陰脾経の流注と所属経穴、要穴を理解する。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	府舎～大包、所属経穴の要穴について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	各授業の要点を理解し、各経脈の流注、経穴、要穴を説明できる。	教科書・配布プリント	授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。
		各コマにおける授業予定	総合演習により講義内容を振り返り、理解度を測る。		